

自動車利用犯罪捜査について (GPS捜査の背景)

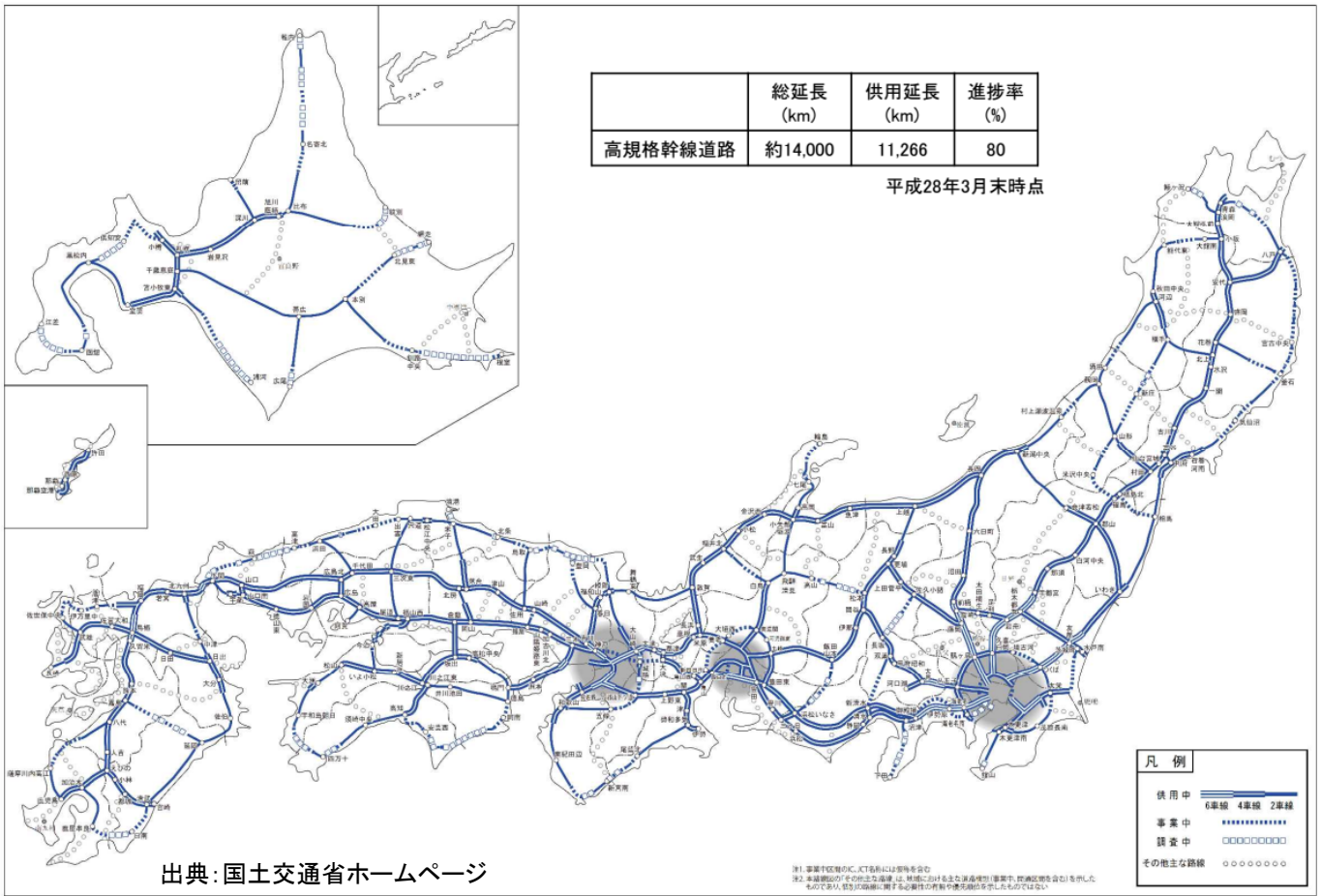
(株) セキュリティ工学研究所
(株) FRONTEO

舟橋 信

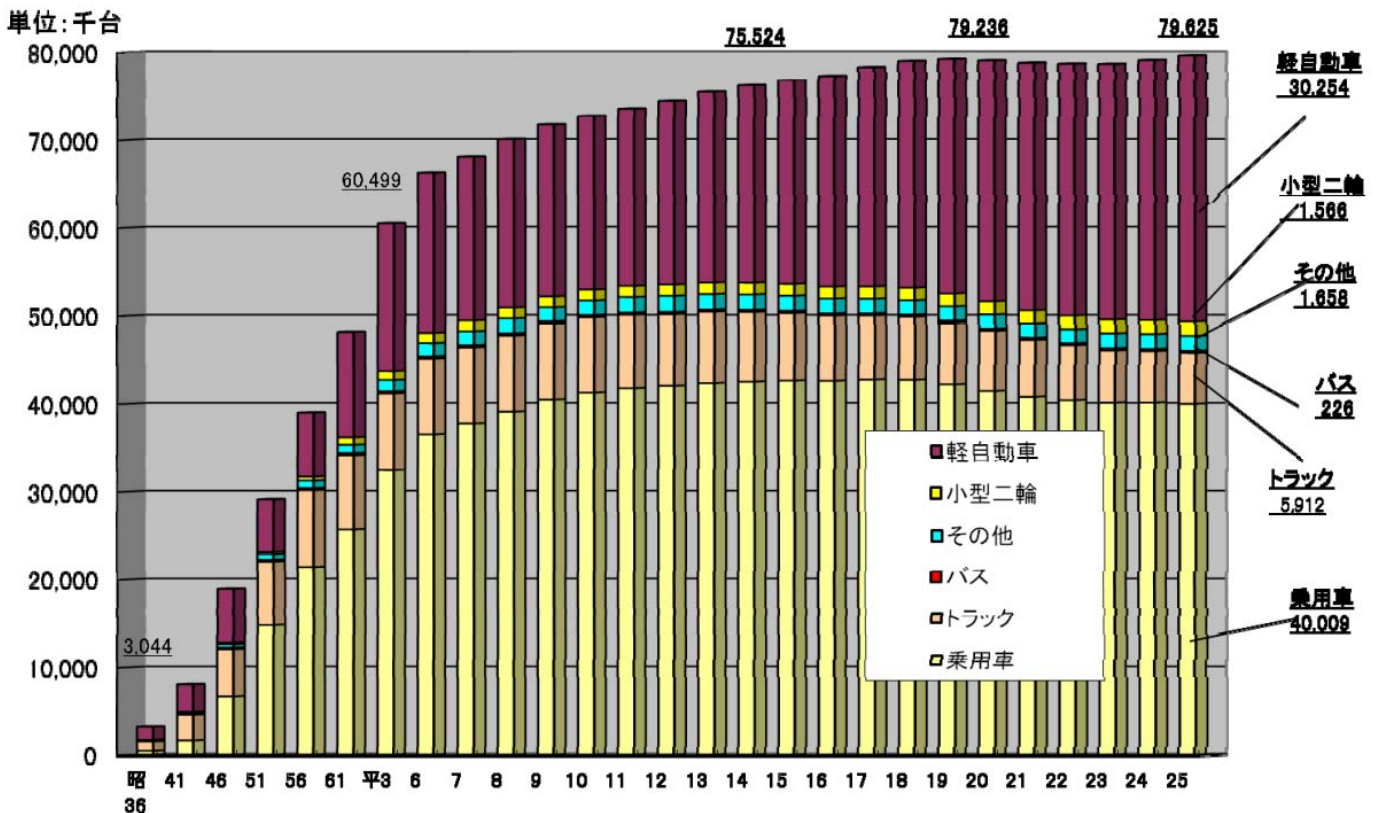
社会情勢

- 1 交通手段の拡充整備
- 2 車両保有者の増大
- 3 都市化の進展

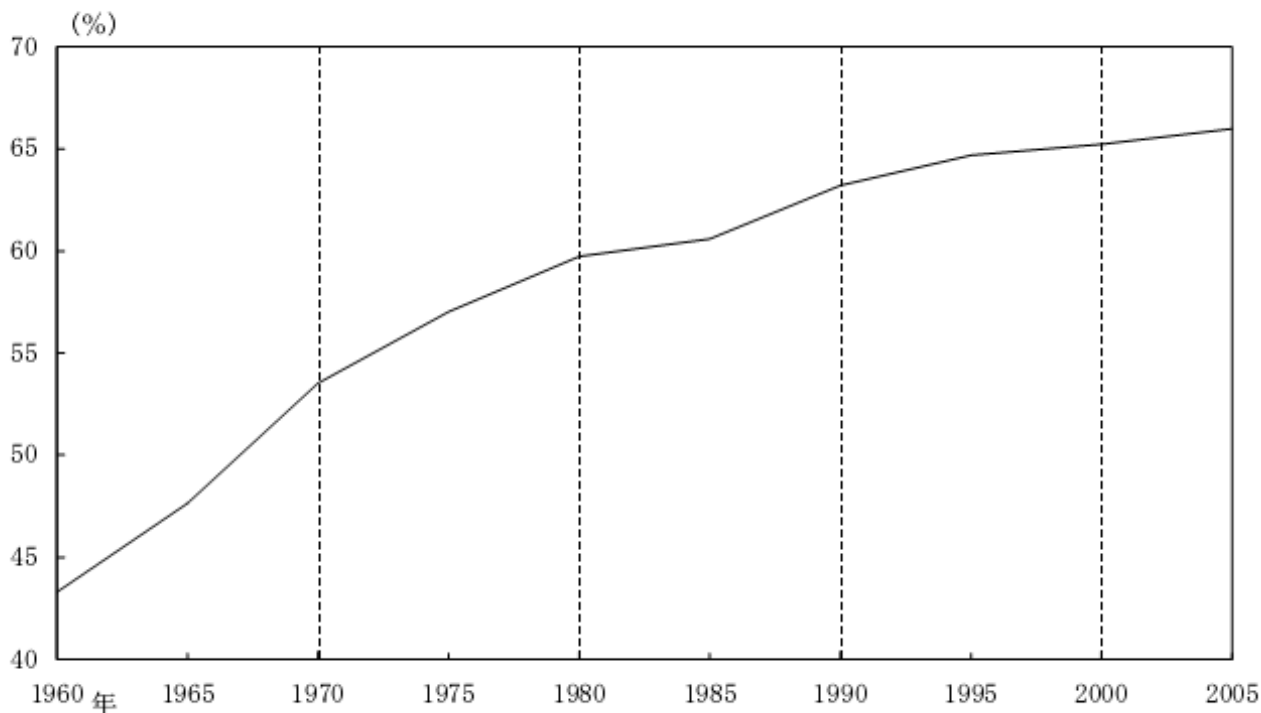
高規格幹線道路等の整備状況



車種別自動車等保有台数の推移



わが国の都市化率の長期推移



出典：土屋幸貴「わが国の「都市化率」に関する事実整理と考察—地域経済の視点から—」
日本銀行ワーキングペーパーシリーズNO.09-J-4 2009年7月

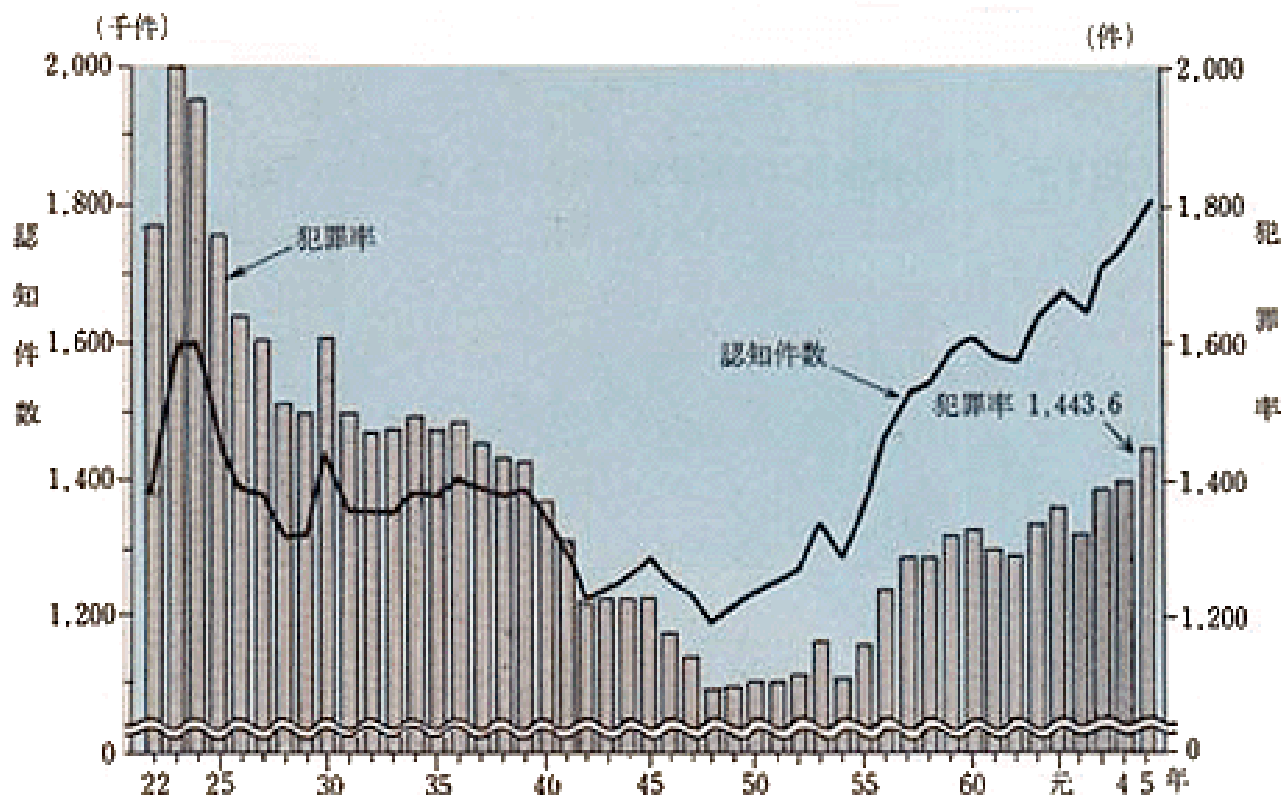
5

犯罪情勢

- 1 犯罪の広域化・スピード化
- 2 犯罪捜査の困難性の増大
 - ・隣人関係の希薄化
 - ・大量生産・大量消費

6

刑法犯認知件数と犯罪率の推移



出典：警察白書 平成6年

7

刑法犯発生から検挙までの期間別検挙状況

	1日未満	1日以上 10日未満	10日以上 30日未満	30日以上 1年未満	1年以上
54年	21.6	9.2	13.0	39.3	16.9
55	20.8	9.0	13.1	39.7	17.4
56	20.3	9.0	12.9	39.8	18.0
57	20.0	9.2	12.4	39.0	19.4
58	20.1	9.0	12.2	38.6	20.1
59	19.1	8.6	11.9	39.0	21.4
60	17.8	7.9	11.5	39.3	23.5
61	16.9	7.4	11.0	38.7	26.0
62	16.6	6.9	10.4	37.7	29.4
63	15.8	6.7	10.3	38.0	29.2

出典：警察白書 平成元年

8

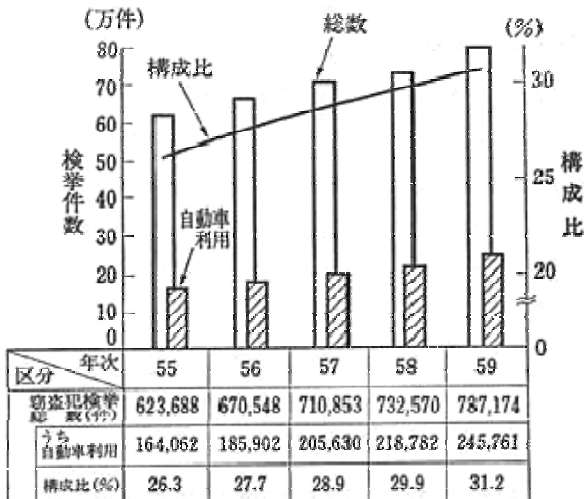
犯罪の広域化、自動車利用犯罪の増加

- 情報化の進展や交通手段、科学技術の発達等の社会情勢の変化に伴い、報道機関を意識又は利用した国民に広く不安を与える犯罪、犯行の動機を計り難い犯罪等、従来の経験からは予測し難い新しい形態の犯罪が発生するとともに、犯行の悪質、巧妙化、広域化、スピード化が一層進むなど、犯罪は質的に変化
- 金融機関対象強盗をはじめとする**各種の犯罪において、機動性に優れ、しかも警察による事後捜査を困難にする盗難自動車の犯罪利用件数が増加**
- 自動車利用犯罪については、緊急配備による検問を実施する場合、実際に検問が開始されるまでに時間を要すること、徹底した検問を行えば、交通渋滞を引き起こすおそれがあることなどの問題がある。これらの問題を解決するため、走行中の自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する**自動車ナンバー自動読取システムを開発・導入(61年)**

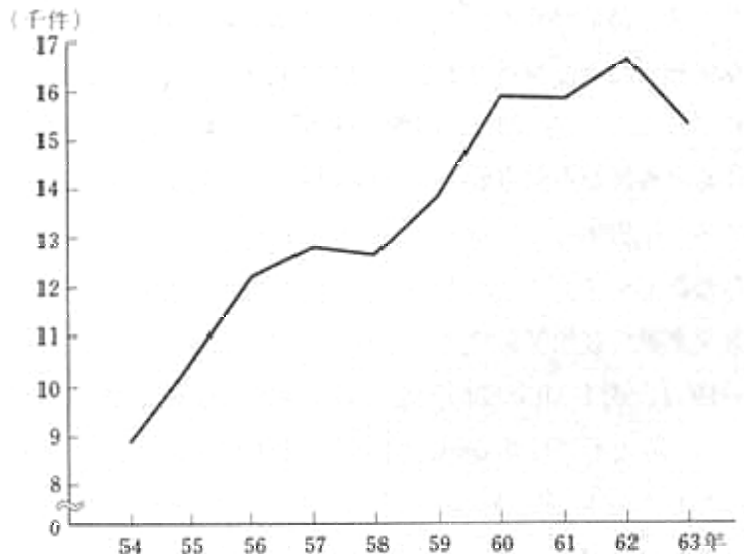
出典:警察白書 平成元年

自動車利用犯罪検挙件数の推移

自動車を利用した窃盗犯の検挙状況

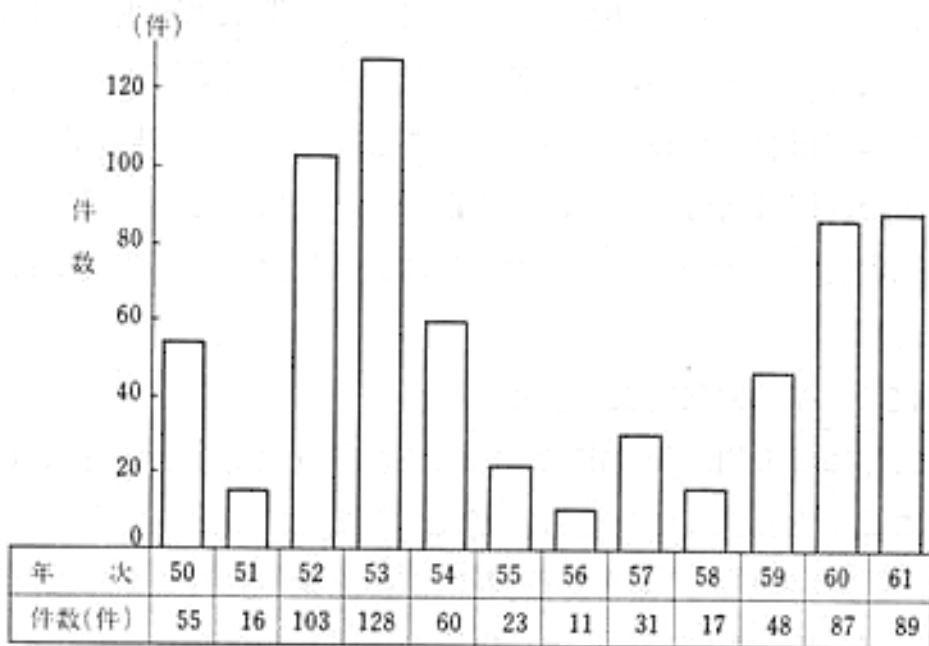


盗難自動車を利用した刑法犯の検挙状況



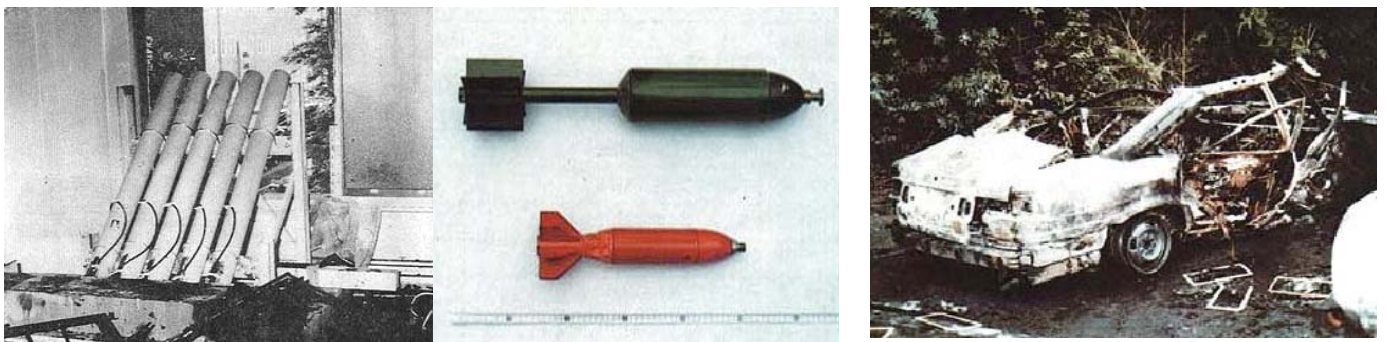
出典:警察白書 昭和60年、平成元年

テロ事件の発生状況



出典:警察白書 昭和62年

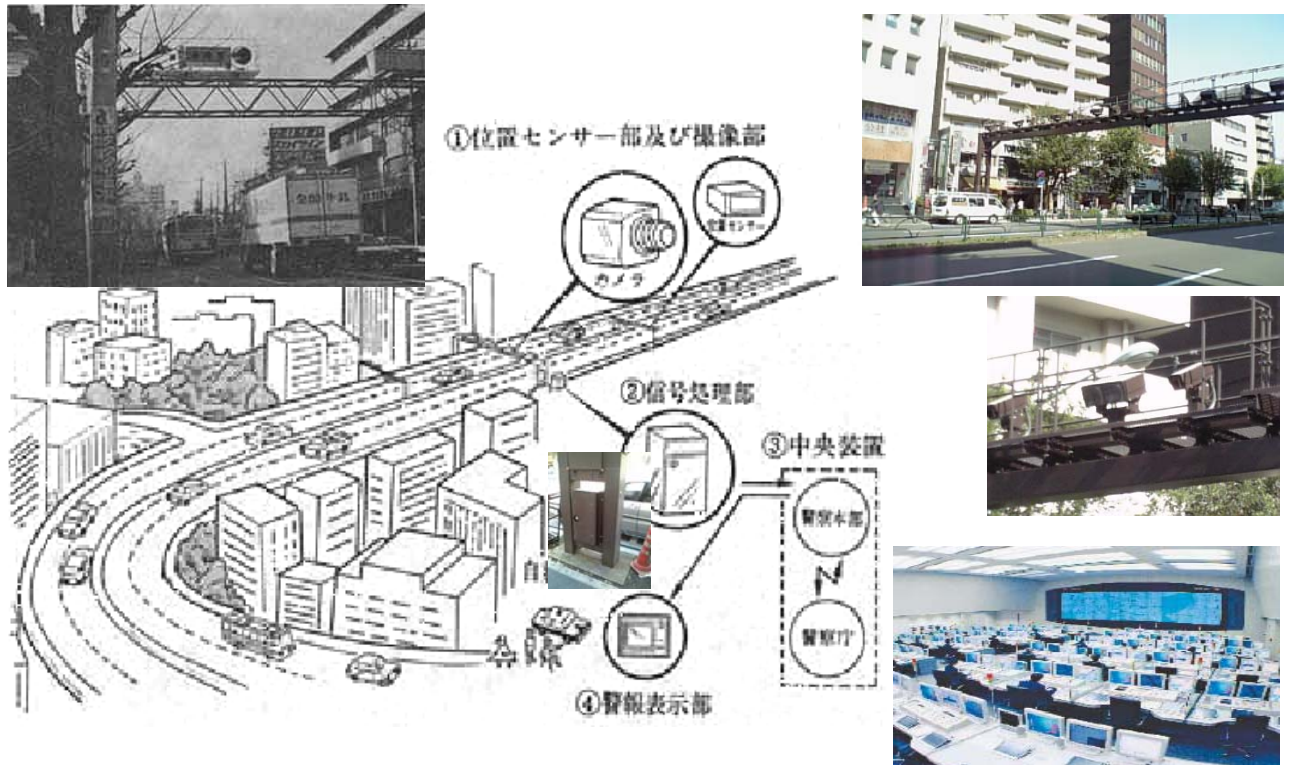
盗難車、偽造ナンバー使用テロ事件の発生状況



区分		年次	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
		盗難車 使用	件数(件)	19	19	3	4	6	3	11	11	12
	台数(台)	24	26	4	7	10	4	15	16	13	10	
偽造ナンバー 使用	件数	13	14	2	4	5	2	7	11	8	4	
	台数	16	20	3	7	9	3	11	16	9	10	

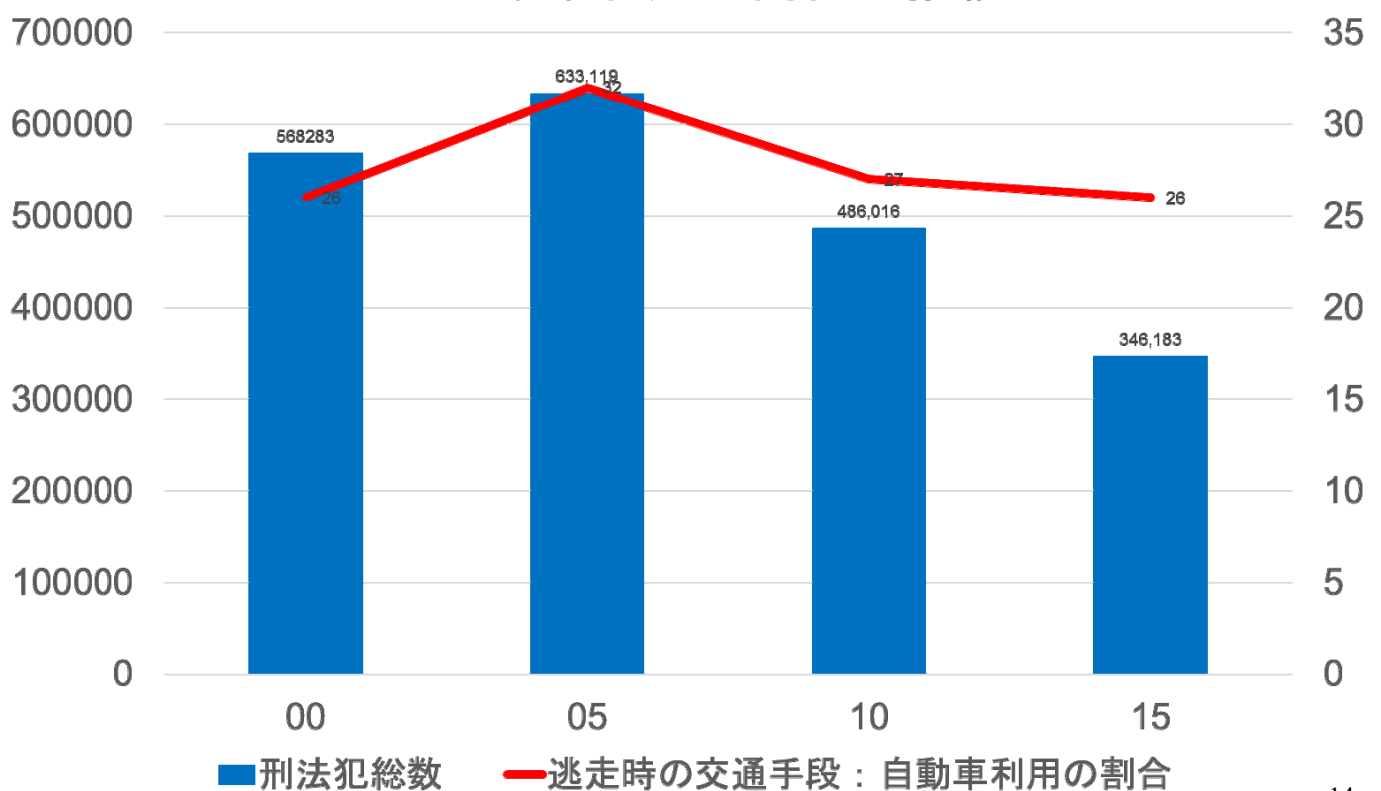
出典:警察白書 昭和62年、63年

自動車ナンバー自動読取システムの開発・整備



出典：警察白書 昭和60年、61年

刑法犯逃走時の交通手段 自動車利用の割合の推移



出典：警察庁犯罪統計データから作成

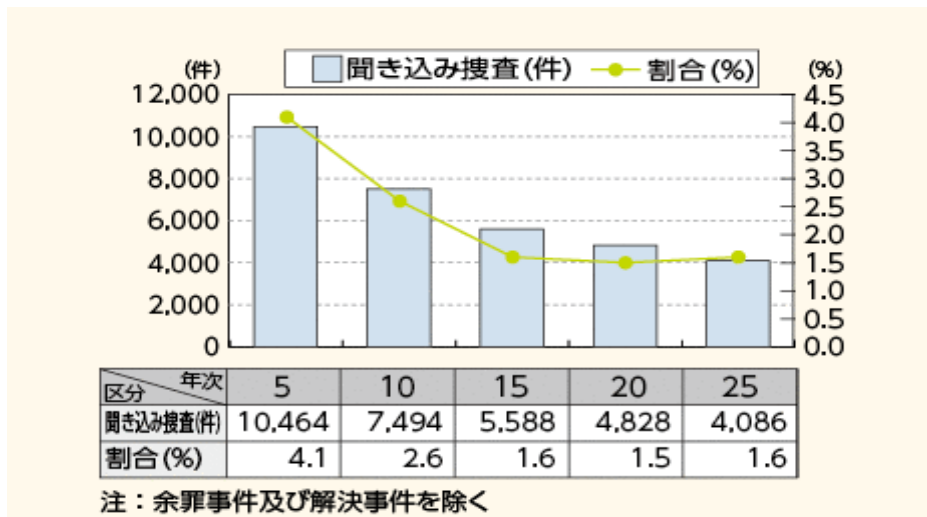
捜査環境の変化

平成26年警察白書 特集:変容する捜査環境と警察の取組

○ 社会情勢の変化

- ・地域社会における人間関係の希薄化 ⇒ 聞き込みによる情報入手が困難
- ・携帯電話・インターネットの悪用 ⇒ 犯罪の痕跡を残さない(偽名・匿名)

聞き込み捜査を端緒とした刑法犯検挙件数の推移



15

○ 社会情勢の変化を受けた警察の取組

- ・**犯人の事後追跡可能性の確保** ⇒ 防犯カメラ画像の活用
 - ⇒ 公開捜査等
 - ⇒ **自動車ナンバー自動読取システムの整備**
 - ⇒ 携帯電話等の悪用対策
 - ・**客観証拠確保のための取組** ⇒ 科学技術の活用
 - ① デジタル・フォレンジック
 - ② DNA型
 - ③ 指掌紋自動識別システム
 - ④ 3次元顔画像識別システム
- ⇒ 各種捜査手法の活用
- ① 通信傍受
 - ② **コントロールド・デリバリー**
 - ③ 譲受け捜査

16

まとめ

- 従来の犯罪捜査手法、手段の限界
- 社会情勢や犯罪情勢に適合した捜査手法等の開発
- 法治国家として、状況の変化に適応した法制度の整備